

さんぼう
三方に注ぐ長柄の鉾子酒

ひさげ
提も空きて訪ね待つ春

令和四年三月三日

大中臣正比呂



ししんでん ぎよくざ
紫宸殿の玉座の前の階かざはしを降りると、庭に左近の桜、右近の橘たちばながある。

今日は桃の節句だ。可愛いあなたの嫁入り人形は、地謡じうたい、笛ふえ、小鼓こつづみ、大鼓おおかわ、太鼓たいこのお囃子はやしで華はやいで語りかける。三人官女さんぼうが提ひさげに入った酒を長柄鉾子ながえちようしに移し、それを三方さんぼうの盃さかずきに何度も注いでくれたけど、「もう少し下さい」と、お酒を待っている私も、だいふ酔ってきた。もう春だなあ。